

町会長連合会だより



唐沢山…藤原秀郷公の居城趾といわれる、深い歴史を持つ山

令和5年9月1日

第29号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集部

佐野市町会長連合会総会開催される！



令和5年5月24日(水)、佐野市文化会館にて「令和5年度佐野市町会長連合会総会」を開催しました。

総会には、145人の町会長が出席し、「昨年度の事業報告と決算」「今年度の事業計画と予算」「顧問及び連合会事務局の設置に関する会則の改正」「連合会役員改選」について議案が提出され、慎重審議の上、全議案が承認されました。

役員改選により、佐野市町会長連合会の新会長には、若松町(城東)町会長の厚木健志連合会副会長が就任されました。

会長就任にあたって

佐野市町会長連合会会長
(若松町(城東)町会長)



厚木 健志

この度の佐野市町会長連合会役員改選により連合会会長という大任を仰せつかりました、若松町(城東)町

会長の厚木健志と申します。

町会長の皆さまには、町会長連合会活動にご支援・ご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

少子高齢化やコロナ禍等社会情勢が激動し、地域の絆も弱まりつつある今日、町会長の皆さまの活動も、多大な影響を受けられているものと思えます。わたくしの町会もご多分に漏れず「少子高齢化」「空き家問題」が深刻化しております。

この対応策として、10年間で町内の

班の大幅な組み替えを2回行いました。各回とも問題なく班の組み替えが出来て、町会の皆さんに感謝しております。

なぜこのよつなことが可能だったのかと言いますと、できる限り町会内を把握することはもちろん、私の考え方は「私と町会」ではなく、「私の町会」『できないからではなく、どうしたらできるか』であり、その信念で取り組んでいることが挙げられると思っております。

この考え方は、私の今までの職業柄かもしれませんが、『私の町会』であれば、自分の家と同じです。どうしたら町会の皆さんが楽しく住めるかを考えればよいことです。「常に相手の立場になれば、対応策も出てきます。」

これまで、このよつな考え方で佐野地区町会長協議会でも実行してまいりました。連合会会長として、167町会に同様な考え方で対応できるか分かりませんが、「町会長の皆さまのご意見・ご協力・ご指導」を受けながら、問題解決に臨んでいきたいと考えております。

また、今年度から、町会長連合会事務局が行政の手を離れ、連合会が独自に事務局を運営することになりました。今後、町会長連合会事務局と一体で、安心して暮らせるまちに、そして皆さまの町会がより一層住み良い町会となりますよう頑張りますので、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

『想い出』



平成27年5月に町会長連合会会長に就任し4期8年、町会長の皆さまには、温かいご支援ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

この度、長年の自治会活動が認められ、春の叙勲で『旭日単光章』を受章いたしましたこと、光栄に思っております。この叙勲は私人の力ではなく、連合会役員の皆さまをはじめ、町会長の皆さま、市当局のご支援ご協力の賜物が、叙勲に結び付いたものと感謝しております。

私の前身は、市役所に38年間奉職し、在職中の昭和56年に浅沼町町会副会長に就任、平成15年に町会長に就任し、退任した令和5年までの20年間、合わせて「自治会活動歴42年間」にわたり、地域自治の振興に努めてまいりました。

この間、平成27年に町会長連合会会長に就任し、栃木県自治連合会副会長及び常任理事も兼務して、地域活動の推進と住民自治の振興に職責を果たしてきました。会長就任期間中支えていただいた町会長の皆さまには、改めてお礼を申し上げます、ありがとうございました。

今後は、町会長連合会顧問として、引き続き自

佐野市町会長連合会

顧問 上岡 良雄

治会活動に精進していきたく思っております。何とぞよろしくお願ひいたします。

また、4期8年の連合会活動の想い出として挙げられるのが、いまだ脳裏に焼き付く令和元年10月の台風19号災害で、各町会より多くの災害ボランティアを募り、災害復旧に努めてきたこと。さらに、令和2年1月からの新型コロナウイルス感染症の拡大に対して、全町会に消毒液の配布及び感染症対策費の補助を行い、感染防止に取り組んできたことです。

現在、町会を取り巻く環境は、人口減少と少子高齢化社会の進行などの社会情勢の変動、足下では、町会役員のなり手不足、町会未加入、空き家対策、老後の要支援問題など、課題が山積しております。

このため、地域住民を構成員とする町会は、住民を基本に、地域住民共同の知恵を活用すると共に、市政への協調と民意の反映に努めて課題解決に取り組み、明るい地域社会を構築することが肝要です。

町会長の皆さまには、健康にご留意されと共に、ご自身の培ったノウハウを礎として、町会活動により一層、活躍されますことを、ご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

町会長連合会 令和4年度の事業報告

●新任町会長委嘱状交付及び説明会 ●新型コロナウイルス感染症対策事業（感染防止のため手指消毒スプレーを各町会に配布・感染対策のため購入した物資について町会長連合会から補助金を交付） ●全市一斉清掃 ●町会長研修会

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で次の事業が中止になりました。

●新春祝賀会・表彰 ●管外視察研修 ●栃木県自治会連合会先進都市視察研修

町会長連合会 令和5年度の主な事業

◆行政と町会について

行政と町会との協働体制がとれるように、各行政機関及び地域担当職員*と共に課題に取り組んでまいります。

*地域担当職員とは、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域に配置された市職員をいいます。

◆会報の作成

市民の皆さんに、町会に関する情報をお知らせするため、「会報編集部会」で会報誌を作成し、年2回発行いたします。

◆町会課題の解決

「地域づくり検討部会」において、町会課題の調査研究及び解決策の検討を行っています。

◆その他

- 全市一斉清掃
- 町会長・町会役員を対象とした講演会
- 永年表彰
- 福祉、教育、文化団体の会議などへの参画
- 栃木県自治会連合会事業への参画等
- 市が主催する各種事業への参画

連合会新役員紹介
(副会長・会計)

令和5年度佐野市町
会長連合会総会にて役
員改選が行われ、連合会
副会長、会計に次の方々
が新たに就任されまし
た。



連合会副会長
(赤坂町町会長)

齋藤 武男

赤坂町町会長5年目
の齋藤です。就任当時台
風19号の秋山川の決壊
に遭遇しました。関係各
位のご努力により復旧
工事も終盤となりまし
た。その後のコロナ感染
症対策に取り組みまし
た。地域の皆さまのご協
力に心より感謝申し上
げます。
今後も町会活動を通
じて安全で住み良いま
ちづくりに努力して参
ります。



連合会副会長
(下多田町町会長)

尾崎 始

今年度の町会長連合
会総会で副会長に就任
いたしました。地元の町
会活動には10年ほど携
わつてまいりました。こ
の間、台風19号時の避難
活動や新型コロナウイルス
への対応等を通し、町会
活動は相互助け合いが
いかに重要であるかを
実感してきました。
連合会活動では体験
を生かしつつ、誠に微力
ですが専心努力したい
と思っております。



連合会副会長
(山菅町町会長)

山菅町町会長 関根 誠一

今回、町会長連合会副
会長に選任されました、

山菅町会長の関根誠一と
申します。厚木会長を中
心として、町会長連合会
の諸事業の推進に寄与
致す所存でありますの
で、会員皆さま方のご協
力ご支援をよろしくお
願い申し上げます。



連合会会計
(犬伏上町町会長)

久村 純二

本年度、町会長連合会
会計に就任することに
なりました犬伏上町町
会長の久村純二です。皆
さまからのお力添えを
いただきながら、努力し
たいと考えております。

私は、佐野市野球協会
の審判として、また地区
のソフトボールの審判と
して、先輩方の指導によ
り、それぞれ十数年間活
動することができまし
た。その体験を連合会、
町会に生かして行こう
と思っております。役員
の責任を痛感しております。

令和5年度全市一斉清掃が
実施されました

5月28日(日)、令和5年度全市一斉
清掃が実施され、早朝から多くの住民
の方々が清掃に励まれました。
今年度は、小中町(東)町会の様子を
ご紹介いたします。



午前7時、各地域ごとに分かれて集
合した約300人の住民の方々が、ご
み収集袋を手に、道路や近接地のごみ
拾い、並びに公園や神社、集会所など、
町内公共施設のごみ拾いを重点的に
実施しました。

小中町(東)町会長 石井 義雄

昨年まではコロナ禍のため、役員
の縮小体制で実施しましたが、コ
ロナ禍の明けた今回は、全家庭一人以上
の出席として実施しました。この一斉
清掃を通して、環境改善とその意識つ
くり、及び町会会員同士のコミュニケ
ーションを図ることの一助になったと思
います。

町会へ加入しましょう！

町会は住民の皆さまと共に災害時の
対応、隣近所との絆づくり、いざとい
う時の相互扶助など地域のために様々
な活動を行っています。町会活動に対
してご理解をいただき、積極的に参加
しましょう。



町会は地域において様々な活動を担っています！

- 安全・安心な暮らしを守る活動
自主防犯パトロール、自主防災組織、防犯灯の維持管理、交通安全活動など
- 親睦活動
お祭りの開催や、子ども会、シニアクラブへの協力など
- 地域環境美化活動
清掃活動、ごみ集積所の維持管理など
- 地域情報活動
回覧板や広報の配布による地域の情報伝達など
- 地域福祉活動
子どもや高齢者の見守り活動など

常盤地区で地域おこし ワークショップ開催

6月17日(土)、常盤地区公民館で、中山間地域の活性化に向けた「地域おこしワークショップ」が開催されました。

ワークショップとは、自分と異なる立場や価値観を持つ参加者全員が意見を出し合い、意見を取りまとめ、共同で課題解決のヒントを探る手法です。



初日の今日は、18人の参加者が、3グループに分かれて、常盤地区の良い点悪い点として「自然が豊か」「歴史と伝統の残る地区」「過疎化の進行」「鳥獣被害の増加」等、意見を出し合い、取りまとめ、グループごとに発表することで、常盤地区の置かれた現状を参加者全員で分かち合いました。

参加した石川和弘さんは「人の集まる拠点として常盤中を活用していきけるよう、地元と行政がタッグを組んで取り組んでいけるワークショップとなれば良いな」と同ワークショップへの思いを話してくれました。



氷室地区土砂災害・ 防災訓練実施される

6月24日(土)に氷室地区(柿平、水木、下秋山、上秋山 町会)において、「土砂災害・防災訓練」が実施されました。

訓練は、大雨により土砂災害の危険性が高まった氷室地区4町会に「警戒レベル4 避難指示」が発令されたとの想定で地域住民約50人が参加。



訓練では、町会長から各住民の方への「避難情報伝達訓練」、自宅から避難所の氷室地区公民館への「避難訓練」、避難所設営訓練やAED講習、炊き出し訓練など「防災教育」について、万一の災害発生時の対応策について学ばれました。

地区代表者の川田新太郎 柿平町会長は「氷室地区は多くの土砂災害警戒区域を抱えているため、万一に備えた訓練は大変心強い。今回の訓練を生かし、地域防災・減災力の向上を図り、地域住民の安全安心を確保していきたい」と訓練の手応えを語ってくれました。



市政懇談会開催される

市内全域20地区を対象に、7月から8月にかけて5会場で「市政懇談会」が開催され、多くの地域住民の方にご参加いただきました。

この懇談会は「市民と行政の協働によるまちづくり」「人と人が支え合う地域づくり」を進めるため、市民と市長との対話による意見交換の場として、広く市民から意見、提案、要望等を聴き、寄せられた意見などを市政運営に反映させることを目的として実施したものです。



懇談会では、市長から「佐野市の魅力発信事業」「第1子から支給対象とする、子宝



祝金支給事業の見直し」「資格試験受験料補助事業」など、これまでの市の主要な施策と、市民の健康寿命の延伸やクリニックを活用した地域経済の発展など、市政運営の展望について説明が行われました。その後の意見交換では、まちづくりに関する意見や市政に対する要望や質問など、各地区において活発な意見交換が行われました。

編集後記

昨今は、「町会役員のみならず手がない、市議会議員のなり手もない」などの報道をよく耳にします。しかし本年度、当連合会を構成する167町会の内、56の町会で新任町会長が誕生しました。一方、5年以上、10年以上地元町会のために尽力いただいている方々も多く、頭の下がる思いです。

人口減少対策が行政の喫緊の課題である現在、町会の存在意義が改めて問われている中で、東日本大震災を契機として「共助」の担い手としての町会の存在意義は重要性を増していると言えます。

高齢化が進展している社会ですが、これを「社会のために役立ちたい」と考えている高齢者も各地域に増えている」と前向きにとらえ、老いも若きも「お互い様」の精神と「ちよつとしたおせっかい」ができる地域社会を創れるよう、行政と協力しつつ二歩ずつ前に進めていきたいと思えます。(須藤記)

発行 者 佐野市町会長連合会

〒027-1601

栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所5階

☎02863-1851-73028

発行責任者 須藤 健志
編集部長 須藤 信夫
編集部会長 片柳 孝夫
編集部委員 松島 俊夫
田村 僚二
石山 悦雄
齋藤 武男

金子 準二
石井 義雄
関根 誠一
久村 純一

アドバイザー 齋藤 武男
▲佐野市町会長連合会は市内全域167町会で組織されています。